



輸入豚肉の役割と グローバル市場の変化への 対応

元カナダポーク日本マーケティングディレクター
野村 昇司
2024年 3月 9日

講師プロフィール

・ 昨年、9月までカナダポーク日本マーケティング・ディレクターを務める。輸入肉販売23年を経てカナダビーフ輸出連合会8.5年間、カナダポーク13.5年間、合計22年間カナダミートの日本市場での普及に努める。

・ 11月よりカナダの老舗の食肉輸出業社、Canworldのアドバイザーとして日本のパートナー企業、ホリトレディング株式会社にて活動開始。今年食肉業界46年目。



講演の内容について

01. 始めに

自己紹介と現職について
世界的な環境の変化
問題点について

02. US PORKの例

アメリカの食肉小売価格
豚生産コストの変化
豚生産者のマージン

03. 世界的な豚の疫病

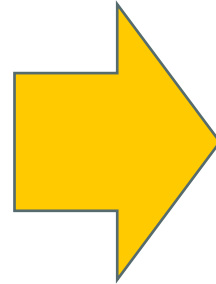
豚生産・世界的な疫病との戦い
カナダにおけるASF対策の進め
日本のASF対策

04. 日本のマーケットの変化と今後

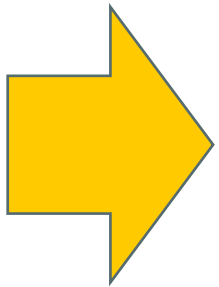
チルドポークとフローズンポーク
極端な円安政策の影響
すそ物の活用と関税の変化
小売りとの対話と新しい商品化

世界ポーク産業を取り巻く環境の変化(2020～2023)

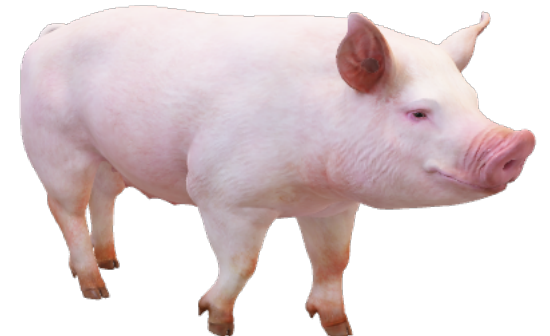
- ・ コロナパンデミック
- ・ ロシアのウクライナ侵攻・ガザ地区紛争
- ・ PED/ASFなど疫病の蔓延
- ・ 異常気象・干ばつ・水不足



- ・ エネルギー価格高騰
- ・ 穀物飼料の高騰
- ・ 人手不足と人件費高騰
- ・ 輸送コストの増大



- ・ 生産コストの増大 ⇒ 生産者の赤字
- ・ 生体価格の上昇 ⇒ パッカーの赤字
- ・ 市場価格の高騰 ⇒ 中間マーゲジンの減少
- ・ 生産意欲の低下 ⇒ 供給量の不足 ⇒ 悪循環



世界ポーク産業を取り巻く環境の変化(2024～)

- ・遅れる北米のポーク産業の業績の回復
- ・EUのポーク産業の回復は構造的なスパイラルで今後も続く
- ・世界的な豚肉および動物性たんぱく質供給のひっ迫
- ・供給の減少が続き北米を始めとした牛肉価格の高騰と高止まり
- ・世界的なインフレ傾向が続くものと思われる



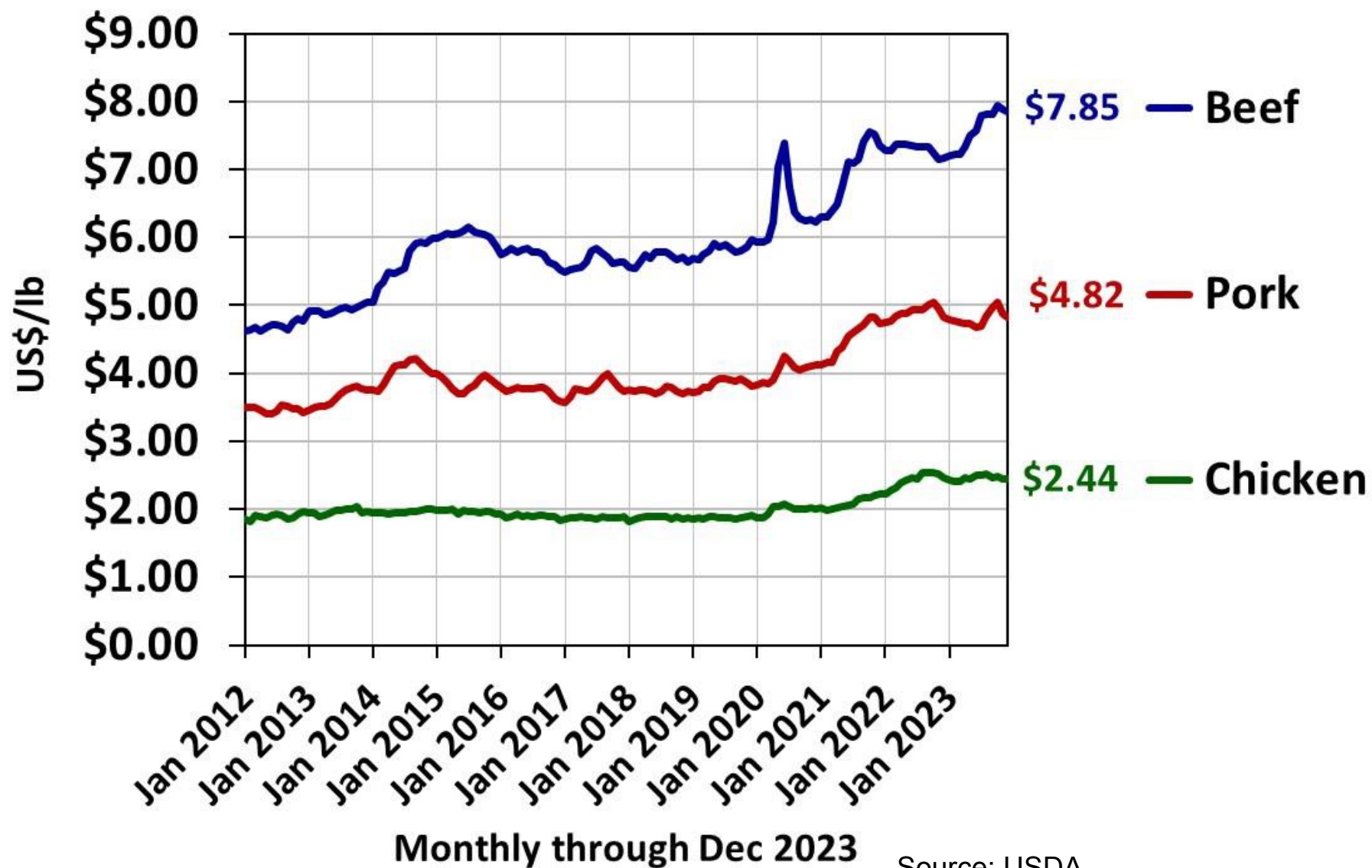
業界として取り組むべき対策

- ・事態への各政府の正しい理解と支援を得る事
- ・ASFなど産業に壊滅的な打撃を与える疫病への対策
- ・今後も中国の動きを注視していく必要

U.S. Retail Meat Prices, Dec

アメリカ
食肉小売価格
推移

2012年～2023年

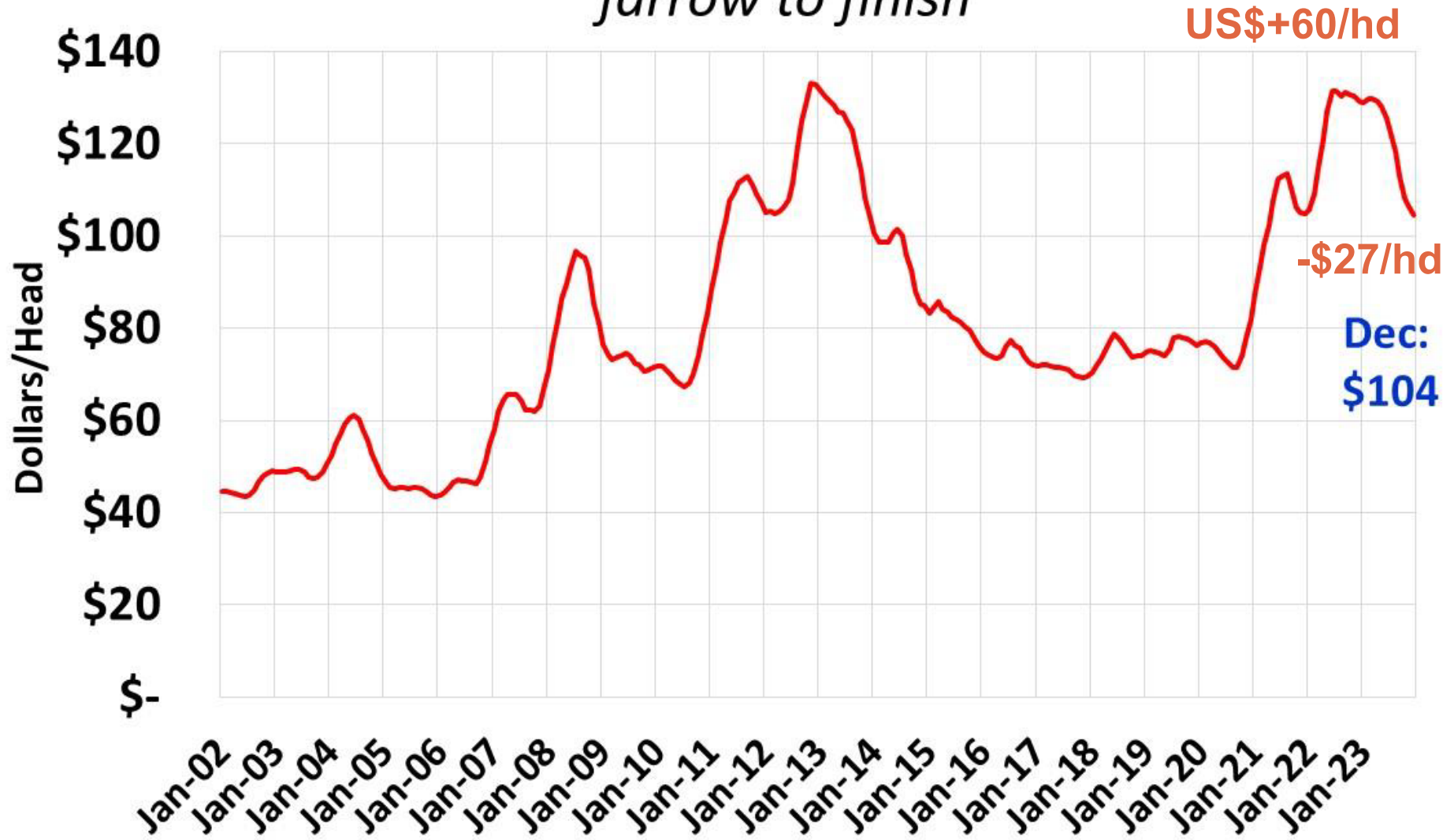


アメリカ 豚生産コスト推移

2002年～2023年

Feed Cost per Head

farrow to finish



Source: Iowa State University

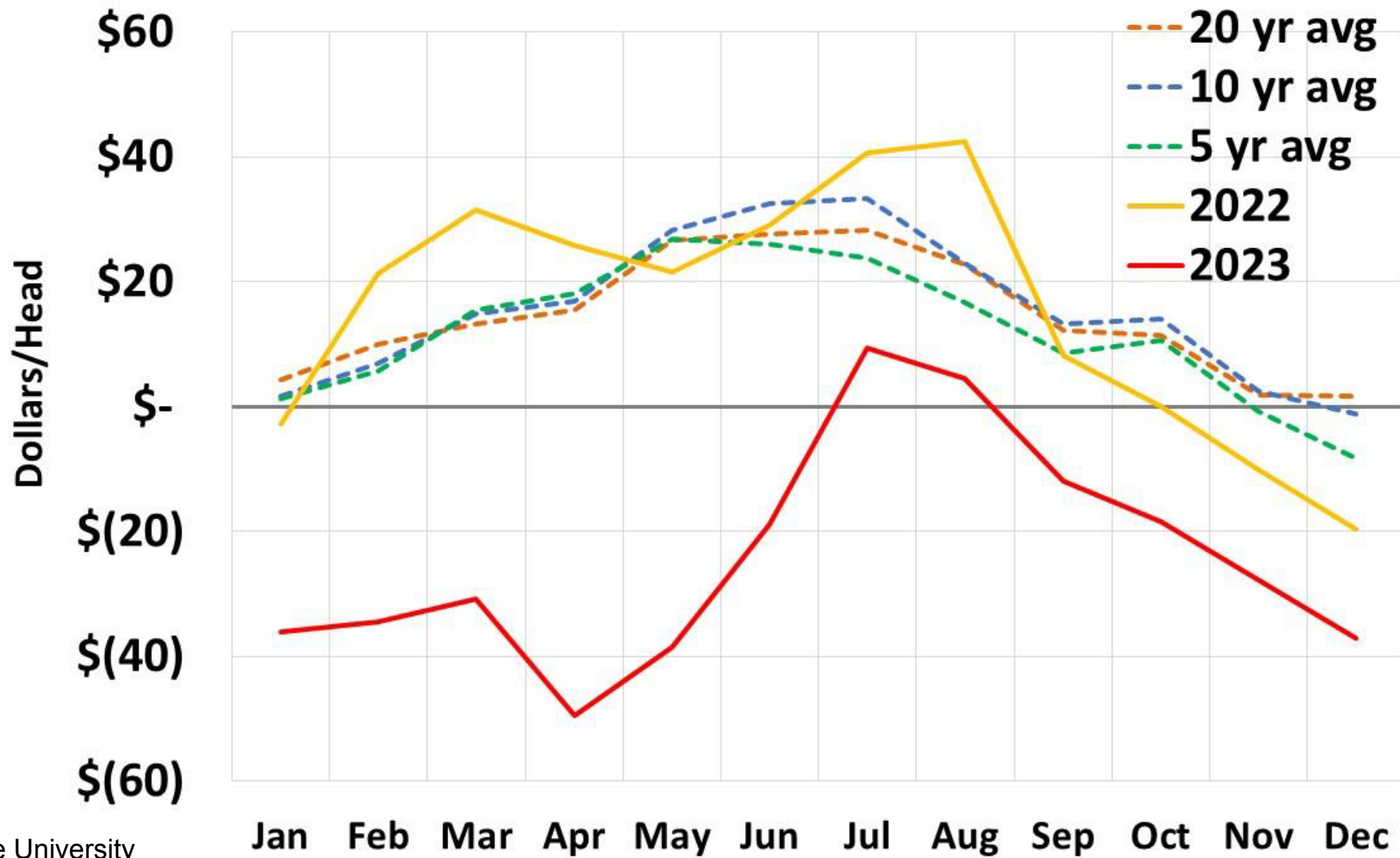
Monthly through December 2023

Seasonal Hog Margins

farrow to finish

アメリカ 養豚利益比較

2022年 vs 2023年



Source: Iowa State University



Canadian Pork Council
Conseil canadien du porc

ASF assistance for the pork industry – a model

January 2024



About Canadian Pork Industry



Canadian Pork Council
Conseil canadien du porc

☆カナダポーク産業の概要

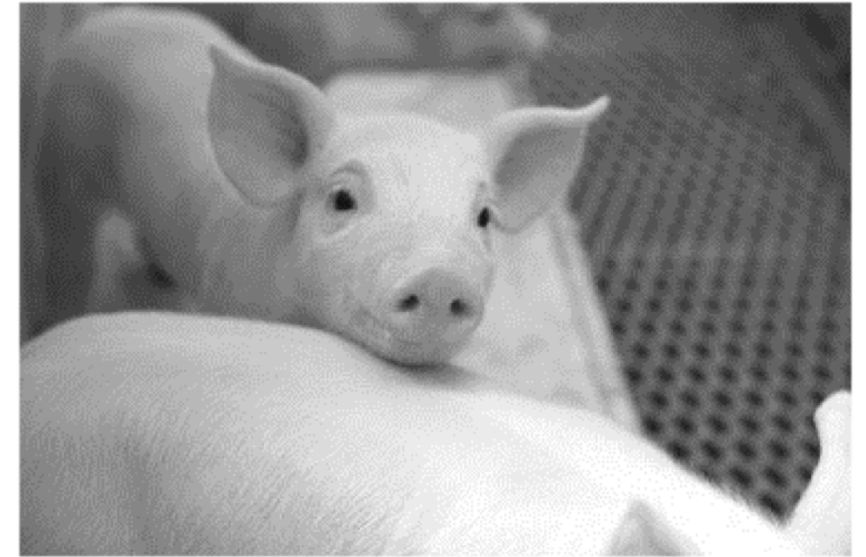
- ユーコン準州を含むカナダの西海岸から東海岸までに約7,000の養豚農場が存在
- 年間50億カナダドルの輸出と80億ドルの豚生産
- カナダ全土で105,000人分以上の雇用創出

☆ポーク生産

- 生産は、独立系生産者と一貫経営（加工業者所有）のほぼ半々。
- Quebec ケベック州(28 %)
- Ontario オンタリオ州(27%)
- Manitoba マニトバ州 (27%)

☆農業・養豚の伝統

- 農業は国内総生産の8%を占める



カナダにおけるASF対策

GOAL：あらゆるレベルで生産者と加工業者が生き残り、業界が回復出来る準備と

アニマルウェルフェアが最重要である

国際貿易の焦点

- ・ 貿易関係国とのゾーニング協定の締結
- ・ US/Canada/Mexico共同のASFワクチン開発

政府の理解と支援

- ・ 上限なしの業界支援
- ・ そのための資源・資金確保
- ・ あらゆる事態を想定し備える

カナダ雌繁殖群の維持

- ・ ASF発生初動時からの飼料給餌の維持
- ・ 養豚農家とバリューチェーンの従事者ケア
- ・ 政府に拠る上限無き生産者のサポート

動物福祉の重点

- ・ アニマルケアの観点からの対策
- ・ 重要な人道的な淘汰

日本政府のASF対応

＊中国～東南アジア
～韓国まで近づい
て
いる脅威

＊EUやカナダなどとの
Zoning Agreement
の早期拡大 ⇒ 日本市
場の
自給バランス維持

＊ASF侵入を防ぐため
の水際対策の更な
る強化
⇒ バイオセキュリティの
強化

＊輸出国研究機
関やOIEなどと
の連携強化

＊CFSなど疫病に対
す
る更なる強化と必
要
な予算確保





日本市場の変化と対応

- ＊極端な円安政策の影響
- ＊チルドポークとフローズンポーク
- ＊すそ物の活用と関税の変化
- ＊小売りとの対話と新しい商品化





ご清聴いただきま
して有難うござい
ました

SHOJI NOMURA